

えんがわ

第72号

2013年3月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
TEL 046-852-1182

ネパール 面白話

昨年暮、衣笠病院グループの行事のひとつとして、ネパールに行つてまいりました。その体験から、ちよつとおもしろい話をひとつ、ふたつ。

まず食事。「ネパール料理にはカレーはありません」インドに隣接し、民族的にも同様ですが、カレー風味の料理は若干あるものの、日本人の想像するカレーはありません。

二つめ「ネパールには交通ルールはありません」道路は車、バイク、ヒトの群れ、クラクション鳴らし放題で錯綜して行き来しております。けれども、死亡事故のような重大な事故

はめつたに起らないのとことです。その理由は、道路事情の関係から、スピードが出せないことと、どうもみている、各人が阿吽の呼吸でうまい具合に接触をさけているとしか思えないようです。

三つ目「けつして寒い国ではありません」

ヒマラヤのイメージから多くの日本人は寒い国との印象をもっている方が多いようですが、緯度は沖縄と同じ、野生のゾウやサイも暮らしています。最近の日本のほうがよっぽど寒いのではないのでしょうか。以上とところかわれば品変わるの一部、ご紹介しました。

衣笠病院 泌尿器科
主任医長 池田 滋

えんがわ在宅 ひとくちメモ

はるよ来い

厳しい冬の日でもここ衣笠ホームの窓辺はお日様が顔を見せてくれるとぽっかぽか。

礼拝から戻られた皆さんと日だまりに持つて来たテーブルを囲んでお茶をいただきます。「今日はコーヒーにしましょうか。」と話していると「何かつまむ物でも。」と一袋手に持つて来てくださる方もいます。足を投げ出してうとうと



としていたり、新聞を広げて読んでいたり、向かいの山が自分の家の物でと毎日話をしてくれる方がいます。家に帰ると言う方もいて、手を握り話を聞いて過ごしています。少しするといつものあの歌が聞こえてきます。つられて私も口ずさむと他の皆さんも。遠い昔の懐かしい歌詞がユニツトの中に広がります。途中でラララ：？となつても気にせず、笑いも加わり更に続きます。暖かくなつたと靴や上着も脱ぎ出して、心も軽くなるようです。

♪春よ来い 早く来い
衣笠ホームのばあちゃんは
：♪

衣笠ホーム 介護福祉士
清末 秀子

どんなに高い山でも、どんなに寒い冬でも笑顔というハナは必ず咲くものですね。春は身近にあるのかもしれません。